

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設維持補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	崎田 浩史			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	小学校のトイレ改修工事、道野辺小学校の校舎外壁屋上改修工事の際に建具等附帯設備の改修を行う。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	小中学校のトイレ改修工事、道野辺小学校の体育館改修工事の際に建具等附帯設備の改修を行う。
②①に基づく取組み結果	鎌ヶ谷小・東部小・西部小・北部小・初富小(2系統)のトイレ改修工事、道野辺小学校校舎外壁屋上改修工事の際に老朽化した建具の改修を併せて行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校校舎・体育館	意図(対象をどうするのか)	学習環境の向上を図る
②事務事業の概要	老朽化した施設、設備等について、計画的に改修を行い、学習環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の建設時期が一定期間に集中していることから、全体的に老朽化が進んでいる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	予定した事業を全て計画通りに完了し、学習環境の向上を図った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	校舎工事に関する生徒/全生徒	8	8	9	%	実施校生徒数/全生徒数
	ii	体育館工事に関する生徒/全生徒	0	0	14	%	実施校生徒数/全生徒数
	iii	その他工事に関する生徒/全生徒	25	36	53	%	実施校生徒数/全生徒数
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算		
事業費(千円)	632,826	757,118	金額(千円)	内容	1,257,376		
国支出金(千円)	39,277	73,584	111,479	道小校舎外壁屋上改修工事	140,387		
県支出金(千円)	0	0	66,286	東部小トイレ改修工事	0		
市債その他(千円)	330,900	567,900	64,878	西部小トイレ改修工事	970,400		
一般財源(千円)	262,649	115,634	63,580	北部小トイレ改修工事	146,589		

IV 評価・検討

①課題	施設の老朽化に伴い、事業の進捗ペースを速める必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	施設の老朽化に伴い、改修ペースを前倒しする必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	道小校舎外壁・屋上防水改修工事、東部小トイレ改修工事 ほか	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額	決算額				
②計画に対する事業実績	計画どおり実施した。その他トイレ改修工事の設計を行った。	1,547,883	1,547,883	当初	532,315	757,118	H30からの繰越	250,844
				H30→R1繰越	272,151			
③達成状況	未完了			補正	743,417		現年分	506,274
④未完了・非着手の理由	12月及び3月補正予算で追加した道野辺小体育館改修工事、鎌ヶ谷小・南部小・東部小・西部小・道野辺小・五本松小・鎌ヶ谷中トイレ改修工事を繰越した為。	令和2年度への繰越額(単位:千円)		683,717				

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設楽器更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	3	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくれます	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	崎田 浩史			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	小中学校9校の楽器更新を行うとともに、全小中学校のグランドピアノについて、リース方式(6年間)により更新を行う。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	令和2年度は、中学校5校の楽器更新を行うとともに、令和元年度にリース方式により更新した全小中学校のグランドピアノについて、賃借料の支払いを行う。
②①に基づく取組み結果	小学校9校において、楽器の更新を行うとともに、全小中学校のグランドピアノについて、リース方式により更新を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校	意図(対象をどうするのか)	学習環境の向上を図る
②事務事業の概要	小中学校において、購入から年数が経過し、老朽化が進んでいる楽器の更新を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	小中学校の楽器については、購入から年数が経過し全体的に老朽化が進んでおり、学校及び保護者等からは更新(改修)の要望が寄せられている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	小学校9校において、楽器の更新を行うとともに、全小中学校のグランドピアノについて、リース方式により更新を行った。					
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i	実施校生徒/全生徒		32	100%	実施校生徒数/全生徒数
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	4,234	5,948	金額(千円)	内容	10,556	
国支出金(千円)			4,455	楽器購入		
県支出金(千円)			1,493	グランドピアノ借上料		
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	4,234	5,948			10,556	

IV 評価・検討

①課題	学校施設における楽器については老朽化が著しいことから、計画的に更新を行っていく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	引き続き、計画的に更新していく必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	小学校9校の楽器更新及びグランドピアノの更新(リー	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	計画どおり実施した。	5,994	5,994	当初	11,804	5,948	H30からの繰越	0
				H30→R1繰越	0			
③達成状況	完了			補正	-5,810		現年分	5,948
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		令和2年度への繰越額(単位:千円)				0		

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	教育委員会運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	1	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	教育総務課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	崎田 浩史			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、学校や教育機関との意見交換の機会を設ける。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、引き続き学校や教育機関との意見交換の機会を設ける。
②①に基づく取り組み結果	教育委員会定例会を学校(初富小・鎌ヶ谷中)や学校給食センターを会場として開催するなど、学校現場との意見交換を積極的に行い、教育委員会の活性化を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	教育委員会委員	意図(対象をどうするのか)	人格が高潔で、教育、学術、文化に関する識見を有する者を任命する
②事務事業の概要	定例会を開催し、鎌ヶ谷市の教育方針や教育行政にかかる議決事項を審議し決定している。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	教育委員会の大幅な教育政策の変換期にあることから、他市の動向を把握しながら、新しい教育委員会体制を確立する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	生涯学習の推進、芸術・文化の振興、文化財の保存、スポーツの振興など様々な教育行政に対し、教育委員会委員による多様な民意を反映した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	定例会の回数	12	12	12	回	実施回数
	ii	臨時会の回数	7	10	10	回	実施回数
	iii	議決された案件	40	41	47	件	議決案件数
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳			令和2年度予算	
事業費(千円)	2,345	2,325	金額(千円)	内容		2,358	
国支出金(千円)			2,208	教育委員会委員報酬			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	2,345	2,325				2,358	

IV 評価・検討

①課題	教育に携わる者の意欲や達成感の向上を図り、鎌ヶ谷市の教育行政を推進することが課題である。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	鎌ヶ谷市の教育行政の発展のため、的確な情報や学校の課題を引き続き把握する必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越
		H30⇒R1繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	令和2年度への繰越額(単位:千円)				